

授業づくりの基本

1 新しい時代に必要となる資質・能力の育成

まず、授業作りで大切なポイントは、新しい時代に必要となる資質・能力について理解することです。

- ・ 学びに向かう力、人間性等の涵養
- ・ 生きて働く知識・技能の習得
- ・ 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

これは文部科学省が示している資質・能力です。頭の中に入れておきましょう。

2 学習指導要領に示されている目標や内容

次に、大切なポイントは、学習指導要領と学習指導要領解説に示されている目標と内容を理解することです。総合的な探究の時間の目標は以下の通りです。

- ・ 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 教材研究・教材開発

いよいよ教材研究についてです。教材研究とは単元の目標に迫るために必要な教材及び単元構想等について、授業者が見識を深めるという意味です。

各学校では、全体研修、学年研修、教科研修等を設定して研修に取り組んでいますが、しかし実際は、個々に任せているのが現状です。

話を戻します。教材研究のもう一つの側面として、教材開発があります。総合的な探究の時間については必須です。避けることはできません。単元の目標に迫るためには、優れた教材が必要となります。しかし、どんなに優れた教材を開発しても生徒の思考に沿ってなければ意味がありません。したがって、教材開発のポイントは、授業者にとっても生徒にとっても意味と価値があるものを作成する、ということです。

実は、今みなさんが試行錯誤しながら取り組んでいる活動そのものが、教材研究及び教材開発なのです。本やネットで調べる、友達の意見を聞く、専門家の話を聞く等、みなさんはかなりの教材研究を行ってきていると捉えることができますでしょう。

4 単元構想と学習指導案

最後に、単元と学習指導案について述べたいと思います。単元とは学習のまとまりのことであり、学習指導案とは、単元をすすめるための計画書のようなものです。これらには、様々な形式があり、各学校によって内容は異なっています。

す。

学習指導案の要素については以下にまとめてみました。先に、単元の要素について述べてみます。単元的主要な要素は、学習活動、形態、時間、評価規準、他教科領域との関連などです。文章や表、図でまとめられています。また、単元とはユニットのことで、ユニットバスを思い浮かべてもらえれば分かりやすいと思います。浴槽の位置や大きさ等を使用者の意図に沿って修正していくように、構想した単元を生徒の反応によって修正いきます。

では、静岡県の初任者研修資料等を参考にしてまとめたものを以下に示します。

〇〇科学習指導案

指導者 〇〇〇〇

1 日時 令和〇年〇月〇日(〇曜日)第〇時

2 学級 第〇学年〇組 〇〇人

3 単元(題材・教材)名 〇〇〇〇

4 単元(題材・教材)目標

※学習指導要領や学習指導要領解説等を踏まえ、単元の特性及び生徒の実態を考慮して記述します。

5 単元(題材・教材)の評価規準

- ・知識・技能(A)
- ・思考・判断表現(B)
- ・主体的に学習に取り組む態度(C)

6 単元(題材・教材)観、単元構想(指導計画と書く場合もあります。)

※学び手の視点に立ち、それぞれの生徒の思いや願いを踏まえながら、捉えた単元(題材・教材)の価値や解釈、題材内容の系統性や構造、他教科・領域との関連を記述する。

また、この単元(題材・教材)をもとに、生徒がどのような活動を通して、どのような見方・考え方を働かせながら、どのような資質・能力を身に付けるのか等を記述する。生徒がどのように思考を深めていくのかといった、単元を通しての生徒の変容を記述する。

※文章ではなく、構想図や表で示す場合が増えてきている。

※単元の指導計画(11/12)

学習活動の過程	形態	時間	主な学習活動	評価規準
①オリエンテーション	全体	1	・災害に関する基本知識を学ぶ。	A

7 生徒の実態

※既存の知識や定着状況や観察・実験等の技能の習熟にとどまらず、学習への取り組み方

単元（題材・教材）に対する関心の傾向や意欲の表れ、生徒がどのように思考を深めてきたかといったこれまでの生徒の変容を記述する。

8 本時の指導（○/○）

（1）本時の目標

※生徒の実態を把握した上で、本時で育成したい資質・能力を、評価が可能になるように具体的に記述する。

「○○することを通して、○○というように考えることができる。」

（2）授業構想

※教師の意図だけでなく、生徒の思いや考えを大切にし、これからどのように深まり、展開されていくか具体的な手立てと共に記述する。

ア 教材との感動的な出会いを工夫し、生徒が自分の課題を持つ。

イ 生徒の思いや考え、意欲を大事にした生徒主体の学習を展開する。

ウ 本時のまとめをし、次時への課題を持つ。

エ 自己評価や相互評価の取り入れる

（3）授業展開

時間	学習活動	指導及び指導上の留意点	備考及び評価
3	1 本時の確認をする。	○各班の作成した防災マップについて発表し、安全に避難するためにはどのように行動すればよいか考えることを伝える。	
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 地震や津波が起きたときに安全に避難するためにはどのように行動すればよいか考えよう。 </div>			
40	2 班ごとに作成した防災マップについて発表する。	○発表内容 ○司会進行は生徒が行う。	安全に避難するためにどのように行動すればよいか考えている。 【ワークシート】B
7	3 本時の振り返りをする。	○自己評価シートで、各自の学習の振り返りをさせる。	【自己評価シート】C